

**2020年度（令和2）年度事業報告**  
(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

1. 会長報告

(1) 総会

2020年年6月19日に定時総会を行うことを予告していたが、COVID-19の感染拡大により、WEBでの総会を行うことを同年6月8日に案内し、7月9日に開催した。

代議員96名（電子的議決権の行使含む）参加のもと、「2019年度収支決算書について審議し可決した。

(2) 理事会、委員会等の開催

2020年度の会議は、WEB会議・メール審議の開催となり、開催数を以下の通り示す。

理 事 会	6回
業 務 担 当 理 事 会	19回
編 集 委 員 会	26回
国 際 交 流 委 員 会	1回
学 会 賞 選 考 委 員 会	1回
トピックス等担当委員会	1回

2. 庶務担当理事報告

(1) 会員等の状況（2021年3月31日現在）

1) 会員数の内訳

正会員	658名
学生会員	62名
団体会員	108件
賛助会員	32社（50口）

2) 役員等

名誉会員	12名
理事	14名
監事	3名
幹事	26名
功労会員	63名
代議員	102名
賛助会員幹事	17名

3) 委員会等

学術・広報委員	6名
国際交流委員	11名
編集委員	11名
JNSV編集委員	11名
トピックス等担当委員	32名
学会賞選考委員	18名
タスクフォース委員会	18名
将来構想検討委員会	10名

## (2) 研究業績の表彰、奨励

### 1) 学会賞受賞者

- 石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所・研究部長 チームリーダー）  
「グルコノラクトナーゼ遺伝子破壊マウスを用いたビタミン C に  
関する諸問題へのアプローチ」  
四童子 好廣（長崎県立大学看護栄養学部 教授）  
「ゲラニルゲラノイン酸の生合成とその細胞死誘導作用の研究」

### 2) 奨励賞受賞者

- 永塚 貴弘（東北大学大学院農学研究科 准教授）  
「トコトリエノールのがん抑制作用とその高機能化に関する研究」  
新田 陽子（岡山県立大学保健福祉学部 准教授）  
「PLP 依存性ヒスチジン脱炭酸酵素に関する研究」

### 3) 企画・技術・活動賞受賞者

- 株式会社 林原  
安場 直樹，万代 隆彦，阿賀 創，三鼓 仁志  
「安定型ビタミン C 誘導体の工業生産とその産業的応用」

### 4) 功績者表彰受賞者

- 伊藤 允好（元神戸薬科大学学長・神戸薬科大学名誉教授）  
平原 文子（元国立健康・栄養研究所主任研究員）  
三浦 洌（熊本大学名誉教授）  
山田 良平（長岡技術科学大学名誉教授）

### 5) トピックス貢献賞

- 福井 浩二（芝浦工業大学システム理工学部 教授）

## 3. 学術・広報担当理事報告

### (1) 年次大会の開催

日本ビタミン学会第 72 回大会は、2020 年 6 月 19 日から 20 日までの 2 日間、吉村徹大会委員長によって準備を進めていただいたが、COVID-19 感染拡大により参集しての大会は中止し、代替開催として講演をオンデマンド配信により 2020 年 9 月 4 日から 9 月 13 日まで行った。参加登録者は、178 名であった。

大会委員長：吉村 徹（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）

テーマ：「Vitamin 100 年 - 次の世紀へ -」

- ・学会賞等受賞講演 5 講演
- ・一般演題発表 92 題
- ・《若手シンポジウム》 「ビタミン・バイオフィクター研究の新潮流」

伊藤 智和（名古屋大学大学院 生命農学研究科）

「アミノ酸・ビタミン B<sub>6</sub> 恒常性に関与する新奇ビタミン B<sub>6</sub> 結合タンパク質」

大森 勇門（大阪工大・工）

「好熱菌 *Geobacillus kaustophilus* がもつ 2 つの NAD 依存性アラニン脱水素  
酵素の機能解析とその生理的意義」

金子 一郎（徳島大学大学院医歯薬学研究部応用栄養学分野）

「生体内リン恒常性を維持するビタミン D 作用」

栗原 晶子（大阪府立大学 総合リハビリテーション学類）

「慢性疾患予防に必要な脂溶性ビタミン栄養状態」

田中 理恵子 (国立成育医療研究センター研究所)

「ビタミン E の抗肥満作用

～熱産生型脂肪細胞をターゲットとした新しいアプローチ～」

西川 美宇 (富山県立大学工学部)

「ゲノム編集法により作出したビタミン D 関連遺伝子改変ラットの表現型比較解析

～ビタミン D 関連疾患の新規創薬ターゲット探索を目指して～」

芳賀 聡 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門)

「 $\alpha$ -トコフェロールに着眼した栄養生理学的アプローチによるウシ疾病予防戦略

～One health : 家畜の健全性と AMR 対策の両立～」

美藤 友博 (鳥取大学農学部)

「線虫をモデル生物として用いたビタミン B<sub>12</sub> 欠乏症発症メカニズムの解明」

真野 寛生 (富山県立大学工学部)

「分割型ルシフェラーゼ法を用いた VDR リガンドの高感度検出系の開発と

生体イメージングへの応用を目指して」

丸田 隆典 (島根大学生物資源科学部)

「アスコルビン酸のレドックスサイクルと植物の光環境順応

～ようやく見えてきた酸化ストレス防御機構の頑健性とその分子基盤～」

谷津 智史 (東京都健康長寿医療センター研究所)

「骨格筋におけるビタミン C の役割」

和氣 駿之 (東北大学大学院工学研究科)

「フラボノイド生合成に進化的に保存されたカルコン合成酵素の活性制御機構と

フラボノイドメタボロン」

《シンポジウム》

第一部「ビタミン・バイオフィクター研究の企業展開」

天野エンザイム株式会社 (西尾 享一)

「血糖測定用酵素グルコースデヒドロゲナーゼ ー補酵素の違いによる変遷ー」

株式会社カイノス (山本 茂一)

「補酵素を利用した高感度検出系の体外診断用医薬品への応用」

資生堂グローバルイノベーションセンター (東條 洋介)

「皮膚における遊離 D-アミノ酸の機能と、新たなバイオフィクターとしての応用」

DSM 株式会社 (乾 泰地)

「イノベーションとサステナビリティ」

ハウスウェルネスフーズ (山本 憲朗)

「世界に広がる穀類・穀物製品への栄養強化」

第二部 大学発ベンチャーの展開

中野 秀雄 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

「無細胞タンパク質合成系を用いたモノクローナル抗体ハイスループット  
スクリーニング技術の開発と社会実装」

黒野 剛 (テクノ・エージェンツ株式会社)  
「大学発ベンチャーを取り巻く環境と始めるに際しての留意点」

(2) 市民公開シンポジウム

第 72 回大会開催時に計画していた「市民公開シンポジウム」は、COVID-19 の感染から参加者の安全を確保するため、開催を中止とした。

日時：2020 年 6 月 19 日 9 時 20 分～11 時 50 分

テーマ：「飽食時代の隠れ栄養失調：健康寿命に影響するビタミン・ミネラル不足」

講演者：石見 佳子 (東京農業大学総合研究所)

香川 靖雄 (女子栄養大学副学長)

栗原 晶子 (大阪府立大学 総合リハビリテーション学類 栄養療法学専攻)

(3) 市民公開講座

2020 年度市民公開講座は、2020 年 11 月 14 日開催に向けて準備を下記の内容で準備をすすめていたが、COVID-19 の感染から参加者の安全を確保するため、開催を中止とした。

実行委員長：上田 夏生 (香川大学医学部生体分子医学講座生化学)

日 時：2020 年 11 月 14 日 (土)

会 場：かがわ国際会議場

テーマ：「人生 100 年時代のビタミン学」

講 演：「骨粗鬆症予防のためのビタミン」

徳島大学 教授 竹谷豊

「健康と若さを保つ脂溶性ビタミン」

お茶の水女子大学 教授 藤原葉子

「健康なからだ作りのための水溶性ビタミン - 今、ビタミン C がおもしろい！」

近畿大学 特任教授 重岡成

(4) 共催・協賛・後援

1) 第 59 回日本栄養・食糧学会近畿支部大会 特別講演 (後援)

シンポジウム「ビタミンの栄養と健康機能」

日 時：2020 年 11 月 14 日 (土) (WEB 開催)

講演者：石神 昭人 (東京都健康長寿医療センター研究所)

阿部 皓一 (武蔵野大学 SSCI 研究所、三菱ケミカルフーズ株式会社)

2) ビタミン B 研究委員会 2020 (令和 2) 年度シンポジウム (協賛)

テーマ：バイオフィクター：そのつくられ方と多彩な健康増進効果

日 時：2021 年 3 月 5 日 (土) 13 時～17 時 (WEB 開催)

講 演：フラボノイドの健康増進効果：骨代謝制御を中心に

上原 万里子 (東京農業大学 教授)

フラボノイドの生合成：植物はなぜそれをつくるのか

中山 亨 (東北大学 教授)

ゴマリグナンの健康増進効果

大澤 俊彦 (愛知学院大学 教授)

ゴマリグナンの生合成経路の全貌解明に向けた取り組み

堀川 学 (サントリー生命科学財団 生物有機科学研究所 博士)

イソプレノイドの健康増進効果～ビタミン K の場合

白川 仁 (東北大学 教授)

(5) ホームページによる広報活動

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な拡大に際して、ビタミンの有効性を過剰に表現することへの注意喚起を行った。

4. 編集担当理事報告

(1) 学会誌「ビタミン」の発行

2020年度は、94巻4号～95巻3号、計11冊を発行した。

掲載論文は、総説(2) 総合論文(5)、原著(1)、ノート(1)、ミニレビュー(7)、研究論文紹介(9)、トピックス(20)、オピニオン(1)、レター(1)、研究室紹介(1)、その他委員会の抄録等を掲載した。

(2) 英文誌「Journal of Nutritional Science and Vitaminology」(JNSV)の発行

公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集し2020年度発行：Vol.66-2～Vol.67-2(6冊)をオンラインジャーナルにより発行した。

(3) 「ビタミン・バイオフィクター総合事典」の出版を企画し、2021年6月に出版予定である。

5. 会計担当理事報告

次の件について検討し、理事会に諮った。

(1) 2019(平成元)年度収支決算書類

(2) 2021(令和3)年度収支予算書類

(3) 特定費用準備資金の運用期間変更について

(4) 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会へ活動事業委託費の申請

(5) 公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団へ特定課題研究等助成金の申請

## 2020（令和2）年度事業報告 附属明細書

2020（令和2）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。